

高所作業車を起因物（小）とする死傷災害発生事例（2017年）

年	月	発生時	死傷災害発生事例	年齢	業種 (小)	事故の 型	労働者 規模
2017	1	14~15	会社で高所作業車の修理中、シリンダー（部品）が滑って受け皿との間に右手が挟まれ出血し、右手小指を骨折した。	22	11701	4	1~9
2017	1	3~4	宣伝ステッカーの貼り込み作業を高所作業車にて行っていたところ、バケットから手の届かないところへの張り込みがあったため、バケットから体を乗り出し、1階コンビニの看板屋根部分に足を掛け作業を行おうとしたが、安全帯が絡まりそれを外そうと試みた際に足を滑らせ落下し負傷した。	26	80209	1	1~9
2017	2	9~10	換気口フードを交換する為、高所作業車を2名の作業員中1名がアウトリガーで車体の調整中に操作を誤り作業車が下がりバンパーと車止めの間に右足を挟み脛を開放骨折した。	37	30203	7	1~9
2017	2	2~3	工事指揮者他11名で構内の改良工事中、作業員が軌陸バケット車で鋼管ビーム付近のき電分岐の腕金手直し中、受傷者の補助ロープの取付フックが操作スイッチに触れた為、バケットが回転し、鋼管ビームとバケットに挟まれた。	68	30301	7	1~9
2017	2	17~18	高所作業車のステージで4人で作業をしていた。地上で打ち合わせをしようと、ステージを定位置に降ろした。車輛のステップを使って降りようとした時に、地上約1.5m位の所でステップを踏み外して地上に落下して頭を地面に打った。	60	30309	1	1~9
			当社の農場において、トマトの誘引作業を行うため、高所作業車に				50

2017	3	11~12	上がろうとした際、手すりを掴んだ手が滑り、そのまま後ろに転落した。	51	60101	1	~ 99
2017	5	14~ 15	被災者は傾斜地で自走式高所作業車（キャタピラー）を使用してラッシング作業を終え、シメラーを取り外そうとして、バケットの位置を変えるため右側へ旋回した時、車体が浮き上がり後方に倒れた。	26	30301	1	10 ~ 29
2017	5	15~ 16	高所作業台と開閉テントをロープでつないでいたため、開閉テントのスイッチを入れたら一緒に作業台が引っ張られ、ロープが切れて作業台が倒れた。	48	30203	2	1~ 9
2017	5	14~ 15	店舗の看板取付け工事中、高所作業車をアウトリガーで地面に固定し、バケットを自ら操作し店舗屋根上の荷物を降ろす作業をしていたところ、ブーム後方旋回中にバケットが車道にはみ出し、そこへ大型トラックが減速せずに走行してきて衝突した。バケットから体が投げ出され、店舗の壁面にぶつかり、地面に落ちた。	29	11709	6	10 ~ 29
2017	6	11~ 12	店のサイン工事施工中、若干の傾斜地に駐車してあった高所作業車輻のアウトリガーの収納作業をしていたところ、当該車輻のサイドブレーキのかけ方が緩かったため、アウトリガーが外れたと同時に自然に当該車輻が後退し始め、慌ててアウトリガーを再度かけようと操作したが間に合わず、そのまま後方に駐車中の他の車との間に挟まれたものである。	40	30209	6	1~ 9
2017	7	14~15	りんごのてき果作業中フライヤ（高所作業車）に乗っていて落下した。	39	60101	1	10 ~ 29
2017	7	14~15	構内において、碍子の取り外し作業を高所作業車にて開始した。被災者が運転操作し高所作業車のバケットを碍子取り外し位置につ け、同乗作業員が鉄構ビームに金車を取り付けようとしたとき、何らかの原因でバケットが上昇し、被災者がバケットと鉄構ビームとの間に挟まれた。	26	30301	7	10 ~ 29

2017	7	11~12	屋根改修工事現場にて施工箇所から高所作業車への移動の際に転倒、高所作業車のバケットより地面へと落下した。	49	30209	1	1~9
2017	7	11~12	現場において、変圧器の保守作業を実施。作業完了後、高所作業車のアウトリガを格納したところ、道路傾斜により、車両が前に動き出した。ブレーキにて停車をさせようと考え、運転席へ向かったところ、アウトリガと接触し受傷した。	37	11601	6	50~99
2017	7	16~17	通信線現場調査終了後、高所作業車から降車時、バケット部から(2.0m付近)足を滑らせ、転落し、負傷した。当時、雨が降っていて滑りやすい状況だった。	35	30301	1	30~49
2017	7	11~12	8mの高さでダクトの吊り作業を行う際、高所作業車を用いて玉掛けを行った。吊り旋回をしたところ、架台とダクトが引っ掛かり、クレーンに引き込む様に斜め吊りとなってしまった。そのため高所作業車に搭乗していた作業員が、クレーンオペレーターにブームを戻すように指示をしたが、引っ掛かりが外れて荷が振れ、高所作業車を押したことでバランスを崩し、クレーンにもたれかかる様に横転し、搭乗していた作業員2名が墜落した。その結果、1名は打撲、もう1名は右手指根元の骨折を負ったが、命に別状はなかった。	29	30302	1	1~9
2017	7	9~10	バスケット車のボックスに乗って、松の伐採作業中、次の枝を伐採するためにボックスを移動中、左手にはめていた手袋がバスケット車のウインチとボックスの間に挟まれ、左手が手袋と共に持っていかれ、左手の小指等を負傷した。	63	30309	7	1~9
2017	9	16~17	新築工事現場内4階1号非常用電機室内で、電機システムにおける室内給気ダクトを施工中に壁貫通ダクトにファイアダンパに接続するため、当該ダンパを電動ウインチにより吊り上げ、高所作業車に2名が乗車し、フランジを接合しようとして吊り上げられた当該ダンパを高所作業車の作業床から人力によって押し込んだ反力の作用で、高所作業車が転倒し床に身体を打ちつける災害に至ったものである。	44	30201	2	1~9
			新築工事現場内4階1号非常用電機室内で、電機システムにおける室				

2017	9	16~ 17	内給気ダクトを施工中に壁貫通ダクトにファイアダンパに接続するため、当該ダンパを電動ウィンチにより吊り上げ、高所作業車に2名が乗車し、フランジを接合しようとして吊り上げられた当該ダンパを高所作業車の作業床から人力によって押し込んだ反力の作用で、高所作業車が転倒し床に身体を打ちつける災害に至ったものである。	53	30201	2	1~ 9
2017	9	9~ 10	道路橋の点検業務でBT400という橋梁点検車のアウトリガーを張り出し、作業を始めようとしたが、道路の幅員が狭く最低必要な張り出し幅が確保できなかったが、少しは出せていたため安全装置を無視し強制操作でなんとかやれないか試した結果、転倒してしまった。原因は、アウトリガーが十分張り出してないのに作業を開始した、安全装置を無視して操作したためである。	34	170209	2	10 ~ 29
2017	10	11~ 12	街路樹剪定作業において高所作業車のジャッキアップを行うため、アウトリガーを自動セットしたが、アウトリガーの地面接地を確認せずに次の作業に取り掛かろうとしたところ、下りてきたアウトリガーと地面の間に右足つま先を挟まれ、右足親指と人差し指先端部を骨折した。	64	30109	7	10 ~ 29
2017	11	9~ 10	被災当日、積雪による通行障害となる樹木伐採の緊急要請があり、管理業務の一環として出動し、現場にて樹木一部を伐採後、作業位置を修正するため車両移動の際、車両後方の操作盤にてアウトリガーを上げると、作業場所が雪の坂道であったために車両が滑り出し、後方に停めてあった2tトラックとの間に挟まれ負傷した。	64	30309	7	1~ 9
2017	12	14~15	改札周りの金属パネル下地（C - 100×50×2.3≒4.1KL=1.07m）を取り付ける為に高所作業車を操作者が上昇させていたが、取り付け高さに至る前に部材の上部が取り付け箇所付近のスラブに当たった為、部材を持っていた被災者の左手人差し指が部材と手摺りに挟まれて受傷した。	58	30201	7	10 ~ 29
			罹災者は、朝から7区のFP5+6ドッキング溶接に従事していた。FPの裏戻し作業で高所作業車に乗り、段取り作業を行っていた。高所				

2017	12	8~9	作業車から降りる際に、高所作業車のバケットの降り口がFPブロックに近くて降りられなかったため、罹災者がバケットの横側を乗り越えて降りようとした際、バケットの手摺りに足が掛かり、高所作業車のバケット約1.5mから転落し、右膝を受傷した。	27	11501	1	500 ~ 999
------	----	-----	---	----	-------	---	-----------------

出典：https://anzeninfo.mhlw.go.jp/anzen_pgm/SHISYO_FND.aspx(職場のあんぜんサイト)

Return to : https://www.jisha.or.jp/international/topics/202206_06.html